

**中部電力**

平成19年2月23日

中部電力株式会社

(東京、静岡、掛川で同時発表しております。)

Press Release

六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの 利用計画(平成19年度)について

当社使用済燃料に関する日本原燃株式会社六ヶ所再処理工場での回収プルトニウムについては、その利用計画を明確にし、透明性を確保する観点から、毎年度、回収に先立ち利用計画をお知らせすること※としておりますが、平成19年度分について、別紙のとおりお知らせします。

なお、六ヶ所再処理工場では、平成18年3月に使用済燃料を使用したアクティブ試験が開始され、同年11月からはウラン・プルトニウム混合酸化物の粉末の回収作業が行われております。

※「プルトニウム利用計画」のお知らせは、「我が国におけるプルトニウム利用の基本的な考え方について」(平成15年8月5日原子力委員会決定)において、六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの利用計画を電気事業者が公表することとなっております。

別 紙

六ヶ所再処理工場回収プルトニウム利用計画(平成19年度)

(ご参考)

本日、電気事業連合会が六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの全電力会社の利用計画を発表しています。

参考資料

六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの利用計画について

(平成19年2月23日電気事業連合会)

以 上

六ヶ所再処理工場回収プルトニウム利用計画（平成19年度）

平成19年度に六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウム（※1）の利用計画は以下のとおりです。

	再処理予定量 （トン）	所有量（※2）（トン） （核分裂性プルトニウム量）（※3）			利用目的（軽水炉燃料として利用）		
		18年度末 保有量	19年度 割当て量	19年度末 保有量（※4）	利用場所（※5）	利用量（※6） （トン/年） （核分裂性プルトニウム量）	利用開始時期（※7） 利用に要する期間の目途（※8）
中部電力 株式会社	19年度						
	34	0.1	0.2	0.2	浜岡原子力 発電所4号機	0.4	平成24年度以降 約0.5年相当

※1当社は、使用済燃料の再処理について、六ヶ所再処理工場の他、海外の再処理工場に委託しています。フランスに約2.6トン（核分裂性プルトニウム量で約1.7トン）、イギリスに約0.9トン（核分裂性プルトニウム量で約0.6トン）、合計約3.5トン（核分裂性プルトニウム量で約2.3トン）を保有しています。

※2「所有量」には、みなし割当による当社への割当予想量（核分裂性プルトニウム量）を記載しています。回収されるプルトニウムは、各電気事業者が再処理を委託した使用済燃料に含まれる核分裂性プルトニウムの量に応じて、各電気事業者に割り当てることとなり、これを見なし割当といいます。

※3 ここで扱う核分裂性プルトニウムは、プルトニウム239、プルトニウム241をさします。

※4 「19年度末保有量」は、「18年度末保有量」に「19年度割当て量」を加えたものですが、少数点第2位を四捨五入しているため合計が合っておりません。

※5 「利用場所」については、浜岡4号機による利用の他、電源開発株式会社大間原子力発電所あるいは日本原子力研究開発機構に譲渡する場合があります。

※6 「利用量」は、年間利用目安量です。また、核分裂性プルトニウム量0.4トン/年を全プルトニウム量に換算すると0.6トン/年となります。

※7 「利用開始時期」は、六ヶ所 MOX 燃料加工工場の竣工予定時期の平成24年度以降としています。

※8 「利用に要する期間の目途」は、「所有量」を「利用量」で除した年数を表すことによって、利用期間としての年数を示しています。